

## ボランティア活動の参画 ～ドリームの会の活動を中心として～

田原市立福江中学校 校長 久瀬正弘

### 1 はじめに

本校は渥美半島の先端部に位置し、4小学校区（亀山・中山・福江・清田）からなる全校生徒320人程度の中規模校である。昭和22年に開校し、以来軟式野球、ハンドボール、陸上競技、卓球などで県大会や全国大会で優秀な成績をあげており、部活動への期待が大きい学校である。一方、昭和50年代後半からは生徒指導にも力を入れてきている。その指導方法は年代とともに大きく変化しており、現在では積極的な生徒指導を掲げて、「全職員で全生徒をみる」「生徒を真ん中においた性善説に基づく指導」を行っている。そのきっかけは平成14年度に研究指定を受けたことであり、その後15年にわたって「自己肯定感を高め、夢を持ち、その実現に向けて動き出す生徒の育成」に力を入れている。

さて、15年前の本校の実態は、明るく素直な気持ちで行動できる反面、自分のよさに気づかず、周囲を気にして引っ込み思案になったり、自分本位の行動を取ったりする生徒も少なからずいた。また、福祉学習が行われ、各種事業所へ体験学習などが組み立てられていたが、生徒の実態から必ずしも十分にその効果が表れているとは言えなかった。



そこで、これらの課題の解決の一つのアイデアとして、ボランティアクラブの立ち上げが検討され、約半年の準備期間を経て、ボランティアクラブ「ドリームの会」が結成された。その活動は15年経った今では、地域と学校を結ぶ大きな存在となっている。

### 2 ボランティアクラブ「ドリームの会」のあゆみと概要

#### (1) 発足までのあゆみ

- 平成14年5月 ボランティアクラブの構想が浮上する。(1年部会より)
- 9月 ボランティアクラブの構想が具体化され、協議される。
- 10月 社会福祉協議会から助言を得る。
- 11月 ANN(あつみNPOネットワーク)の協力を受ける。
- 12月 ボランティアクラブの設立が正式に提案され、了承される。
- 平成15年1月 ボランティアクラブの名称が「ドリームの会」と決まる。
- 2月 「ドリームの会」が正式結成される。
- 4月 規約が正式につくられ4月16日から施行される。  
校内にボランティア委員会が発足する。  
ボランティア活動が「中山宅老所」「渥美福寿園」で始まる。
- 8月 リーダー研修会の実施

<この後、社協、ANN、町教委のご尽力で活動の場を提供され、活動範囲が拡大されて行った。さらに、3周年、10周年では記念誌が発行された。>

#### (2) 組織の概要

目的：①ボランティアの心を育てる

②ボランティア活動を通じて福祉を養う

③主体的な会の運営を行うことで地域との交流を深める

募集：全校生徒から毎年募集している。毎年およそ100名程度の会員。

指導者：校務主任、各学年の担当者、養護教諭、特別支援学級担当者

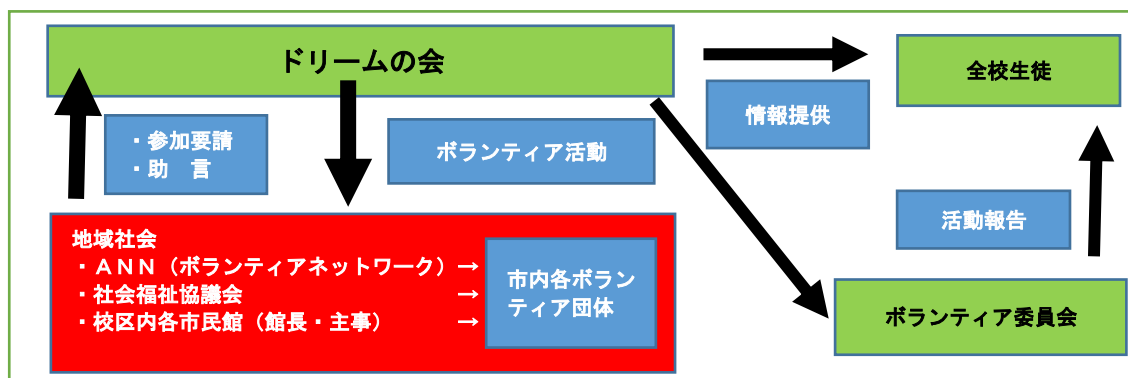
参加条件：①会員の自由意志による参加

②活動への参加は会員のみで、教職員の引率はなし

③活動の参加への責任は会員本人と保護者

④入会に際し、ボランティア保険に加入する

### (3) 関係図



ドリームの会が行うボランティアは地域からの要請に対して、中学生に相応しい内容であり、基本的には自力で通うことができる場所としている。ANNや社会福祉協議会を経て募集をしていたが、今では各団体から直接オファーをもらうようになっている。参加要請を受けたドリームの会は会員に募集状況を知らせ、希望を募り必要人数を派遣している。活動では募集した団体に生徒を完全に預け、行き帰りは保護者の責任でお願いしている。教師の引率は原則なしとしている。募集团体とは事前事後の打ち合わせを行い、生徒の活動状況を把握している。校内ではボランティア委員会を設置し、ドリームの会の会員が委員として活動し、ドリームのと全校とをつなげる活動をしている。

### 3 これまでの主な活動とその実際

#### (1) 渥美福寿園

地元にある特別養護老人ホームで、結成当初より毎週日曜日を中心に数人の生徒がボランティアに参加している。

活動内容は、介護補助、清掃活動、夏祭りスタッフ等

#### (2) あつみロビーコンサート

渥美文化会館ロビーで毎年、夏から冬にかけて年6回程度行われるコンサートで、毎回10名ほどが参加している。

活動内容は、会場の準備・片付け、受付業務、休憩時の飲食物提供等

#### (3) 環境ボランティアサークル「亀の子隊」

毎月1回、三河湾に面する西の浜海岸の清掃活動を行っている。毎回、20名から30名程参加している。

活動内容は、海岸清掃

#### (4) 各市民館活動

校区内にある4つの市民館活動に参加している。活動内容は不定期であるが、敬老会、保育園児対象の活動への補助、市民館祭りのスタッフ等、多彩である。

#### (5) 宅老所

校区内に数箇所作られたお年寄りのしゃべり場。結成当初は毎週日曜日に各会場へ4～5人が参加していた。数年後に閉所された。

活動内容は調理補助、会食、会話等

#### (6) 夢講座（リーダー研修会）

会員全員が参加する研修会。学年ごとに毎年夏休みに行われる。1年生にはボランティアの意義や参加時の注意点等、2年生には地域活動の意義や様々な活動紹介、3年生には、ボランティアリーダーとしての心構えや自分の将来への関わり方等を主な内容としている。

講師はANNからの紹介を受けて人選をしている。



#### 4 広がる地域とのつながり

ドリームの会の存在が周知され始めると地域の活動への参加案内が増えたり、新しい活動への提案がなされたりと、地域との結びつきが深くなってきた。

##### (1) 福祉のつどい

田原市社会福祉協議会主催のイベントで、毎年秋に行われる。会員10数名と担当教職員数名が参加。活動内容はブースでの活動紹介、物品販売、会場スタッフ等であり、他団体との交流と活動の周知が大きな目的となっている。

##### (2) ANNの集い

渥美地区で行われるイベント。NPOに所属する団体の活動紹介やネットワークの強化ができるため毎年10名から20名が参加している。活動内容は福祉のつどいとほぼ同じであるが、会場の準備、片付けも行う。地元への恩返しと交流が大きな目的となっている。

##### (3) ラベンダープロジェクト

ラベンダー栽培をもとにラベンダーウォーターを抽出し、関連製品を製作販売し、地域活性化に寄与する活動。渥美半島ハーブの会との共同企画で5年前から始まっている。活動の中心はドリームの会であるが、草取り等は全校体制で行い、3年前から本校園芸部との共同活動となっている。主に、販売活動を担っている。



ラベンダー畑の草取り



ラベンダーオイルの抽出

##### (4) つるし飾りロード

地元の福江校区、清田校区のまちづくり協議会が、毎年冬から春に行われる菜の花さくら祭りに合わせて行っているまちづくり活性化イベント。この活動への参加が「都市景観大賞」受賞のきっかけとなった。

活動内容はつるし飾り制作・飾りつけ、ボランティアガイド



つるし飾り制作



町内での飾りつけ



ボランティアガイド

##### (5) サンキュー☆福江

ドリームの会の活動の拡大版である。全校縦割り班による地域奉仕活動で、ドリームの会が行っている奉仕活動を全校体制で行おうと教育課程（総合的な学習）に位置づけたもの。現在では各校区会長との話し合いによって活動内容を決めている。地域の要請に基づいているため、地域からはなくてはならない行事へと発展している。

##### (6) ドリーム会議

この会議は各市民館長やPTA役員と生徒との会議のことであり、本校独自のネーミングである。主にサンキュー☆福江や資源回収（クリーン作戦）などでこの会議を活用している。この会議が始まってからは市民館との関係が深まり、市民館祭りへの協力やや揭示物の作製などの要請が増えている。



校区会長と会議を行う生徒

## (7) 国土交通省「都市景観大賞」

福江・清田まちづくり協議会が取り組む「福江つるし飾りロード」にドリームの会がボランティア参加したことがきっかけでラベンダープロジェクトやふるさと学習の実践をまとめ直し「福中まちづくりプロジェクト」として応募した。その結果、ドリームの会の活動と全校で行う総合的な学習の取組がふるさと渥美における景観まちづくりに貢献しているとの評価を頂き、大賞を獲得することができた。

## 5 地域・生徒の声

### (1) ANN代表 森下静子氏

ドリームのみなさんと一緒に、ここ渥美でコンサートづくりができたことをとてもうれしくそして誇らしく感じています。当初かかわってくれたメンバーは24歳となり今でもあちこちで出会うと、和んだ気持ちであいさつを交わすことができ、幸せです。また、中学1年で初めて参加された生徒さんが、何回か加わっているうちに見違えるように主体的に前向きに、業務を行っている姿は本当に感動的です。このごろは、卒業後も高校生スタッフとして加わってくれてうれしい限りです。(中略) これからも、福江中学校の宝物、地域の宝物である「ドリームの会」を応援していきたいと思えます。

### (2) 渥美福寿園 小久保彰仁氏

活動のはじめには、いつも明るい声で「おはようございます！」と気持ちのよい挨拶をしてくれて、皆さんの活気溢れる声にお年寄りや施設の職員も元気をもらっています。(中略) 福祉ボランティア活動を受け入れる側として一つ思うことは、ドリームのみながもっている「あたたかい福祉の心」は、どの学年の子どもたちでも共通してもらっているんだなと強く感じます。

### (3) 3年生 MKさん

私は3年間ドリームの会に所属しています。1年生の時は、亀の子隊を中心に活動していました。ゴミを拾い終わった後の何ともいえない達成感を何度も味わうことができ、ボランティアに参加してよかったと思ったことを覚えています。2年生の時は部活動でなかなか参加できなかったのですが、3年生になって積極的に参加しました。特に花の里に行きました。窓拭きをしていると、おじいさんが「ありがとう。ごくろうさま」と言って飴をくれました。体力的にはすごく疲れていたけど本当にうれしくて、もっとがんばろうと思いました。感謝の言葉をかけていただいたけど、「私の方こそ、こんなにいい経験をさせてもらって、ありがとうございます」と言いたいです。

ボランティア活動を通して、私が一番感じたのは、ボランティアは人のため以上に、自分のためにするものだという事です。ボランティアに参加する度に、積極性や礼儀などがすごく成長したことを感じる事ができます。ドリームの会の活動は本当に素晴らしいので、これからもずっと受け継がれていってほしいです。

## 6 成果と課題

### (1) 成果（歴代担当者の声より）

- ・「福江中学校の自慢できる活動」と自信をもって生徒が言えるようになった。
- ・地域の人たちから活動を認められることで、生徒一人一人がたくましく成長している。
- ・ボランティア活動の教育課程への位置づけとして全校地域奉仕活動「サンキュー☆福江」の活動が始まった。
- ・やりがいをもってボランティア活動に従事する地域の人材とネットワークをもつことができ、生徒、教職員の物事を見る視野が広がった。
- ・リーダー研修会や実際の活動を通じて「ありがとう」の言葉の大切さやありがたみを学ぶことで、感謝の気持ちを持つ生徒が増えた。
- ・自分で希望した活動に参加することで「心の成長」をさせている。特に、「自分から進んで行動する心」「ともに支えあい、学び合う心」「出会いや発見、感動、喜びを感じる心」「よりよい方法や仕組みを考える心」の成長をさせている。

### (2) 今後の課題

- ・連携型中高一貫校として、高校との連携の中で新たな取組を模索したい。
- ・来年度、隣接校との統合が予定されており新しい校区との関係構築が必要となる。
- ・ラベンダープロジェクトやつるし飾りロードなどドリームのみだけでは対応しきれない大型のプロジェクトへの対応方法を考えていく必要がある。